

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成25年11月13日

【四半期会計期間】 第69期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）

【会社名】 サンメッセ株式会社

【英訳名】 Sun Messe Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 田中 義一

【本店の所在の場所】 岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5番地の1

【電話番号】 (0584)81-9111(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 千代 耕司

【最寄りの連絡場所】 岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5番地の1

【電話番号】 (0584)81-9111(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 千代 耕司

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第68期 第2四半期 累計期間	第69期 第2四半期 累計期間	第68期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高(千円)	6,895,072	6,992,683	14,313,123
経常利益又は経常損失( ) (千円)	96,383	1,511	129,016
四半期純損失( )又は当期純利益(千円)	86,358	17,186	58,890
持分法を適用した場合の投資利益(千円)	-	-	-
資本金(千円)	1,236,114	1,236,114	1,236,114
発行済株式総数(株)	17,825,050	17,825,050	17,825,050
純資産額(千円)	9,836,508	10,280,953	10,262,396
総資産額(千円)	16,675,081	17,472,404	17,495,756
1株当たり四半期純損失金額( ) 又は当期純利益金額(円)	5.02	1.00	3.42
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
1株当たり配当額(円)	3.00	3.00	6.00
自己資本比率(%)	59.0	58.8	58.7
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	454,690	781,705	988,089
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	535,904	162,879	584,782
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	247,635	72,649	362,843
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	1,069,831	1,985,321	1,439,145

回次	第68期 第2四半期 会計期間	第69期 第2四半期 会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純損失金額( ) (円)	3.41	3.50

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資損益については、関連会社がないため記載しておりません。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策に対する期待感と金融緩和策により、円安・株高が進み一部輸出関連企業を中心に業績回復の兆しがみられるものの、原油高や欧米諸国における財政問題等の景気下振れリスクも存在し、依然として先行き不透明な状況が続いております。

印刷業界におきましても、ペーパーレス化に伴う需要の減少が加速する中、同業者間の受注競争の激化による単価の低迷や原材料の更なる値上がりが予想されるなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境下にあつて当社は、前事業年度に引き続き「人材育成の年」を会社方針としました。印刷業界を取り巻く環境が著しく変化していく中、常に変化・変革し、何事にも積極的にチャレンジすることができる人材、そして新たなチャンスを活かすことができる人材を育てていくこと、それこそが経営基盤の強化や企業の成長につながるものと考えております。

売上の部門別では、一般商業印刷物は、カタログやダイレクトメールなどが前第2四半期累計期間を上回り51億31百万円（前年同期比2.7%増）、包装印刷物は包装紙・袋物が前第2四半期累計期間を下回り10億60百万円（同0.2%減）、出版印刷物は取扱説明書などが前第2四半期累計期間を下回り8億円（同4.0%減）となりました。

以上の結果、売上高は69億92百万円（前年同期比1.4%増）、営業損失は56百万円（前年同期は営業損失1億48百万円）、経常利益は1百万円（前年同期は経常損失96百万円）、四半期純損失は17百万円（前年同期は四半期純損失86百万円）となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は19億85百万円となり、前事業年度末と比較して5億46百万円の増加となりました。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動により増加した資金は、7億81百万円（前年同期は4億54百万円の増加）となりました。これは主に原材料の仕入・外注費の支出で35億63百万円、人件費の支出で24億25百万円それぞれ減少したものの、営業収入で77億76百万円増加したこと等によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動により減少した資金は、1億62百万円（前年同期は5億35百万円の減少）となりました。これは主に投資有価証券の売却及び償還による収入で2億22百万円増加したものの、有形固定資産の取得による支出で3億48百万円減少したこと等によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動により減少した資金は、72百万円（前年同期は2億47百万円の減少）となりました。これは主に配当金の支払額で51百万円減少したこと等によるものであります。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第2四半期累計期間における研究開発活動の金額は、31百万円であります。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	60,000,000
計	60,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	17,825,050	17,825,050	東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)	単元株式数100株
計	17,825,050	17,825,050	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	17,825,050	-	1,236,114	-	1,049,534

##### (6)【大株主の状況】

(平成25年9月30日現在)

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対 する所有株式数の割 合(%)
有限会社デンコウ	岐阜県大垣市禾森町4丁目1931-5	1,619	9.08
株式会社大垣共立銀行 (常任代理人 資産管理サー ビス信託銀行株式会社)	岐阜県大垣市郭町3丁目98 (東京都中央区晴海1丁目8-12 晴海アイラ ンドトリトンスクエアオフィスタワーZ棟)	857	4.80
田中 茂宏	岐阜県大垣市	605	3.39
田中 尚安	岐阜県大垣市	581	3.26
田中 和子	岐阜県大垣市	543	3.04
田中 勝英	岐阜県大垣市	531	2.98
田中 良幸	岐阜県大垣市	528	2.96
田中 義一	名古屋市中村区	515	2.89
サンメッセ従業員持株会	岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5-1	510	2.86
株式会社十六銀行	岐阜県岐阜市神田町8丁目26	340	1.90
計	-	6,633	37.21

(注) 当社は自己株式622千株(3.49%)を所有しておりますが、上記大株主から除いております。

(7) 【議決権の状況】  
 【発行済株式】

(平成25年9月30日現在)

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等) (注1)	普通株式 622,600	-	-
完全議決権株式(その他) (注2)	普通株式 17,199,800	171,998	-
単元未満株式	普通株式 2,650	-	-
発行済株式総数	17,825,050	-	-
総株主の議決権	-	171,998	-

(注) 1. 「完全議決権株式(自己株式等)」欄は、すべて当社所有の自己株式であります。

2. 「完全議決権株式(その他)」欄の株式数には、株式会社証券保管振替機構名義の株式1,100株が含まれており、同欄の議決権の数には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数11個が含まれております。

【自己株式等】

(平成25年9月30日現在)

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
サンメッセ株式会社	岐阜県大垣市久瀬川町 7丁目5番地の1	622,600	-	622,600	3.49
計	-	622,600	-	622,600	3.49

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

1. 四半期財務諸表の作成方法について  
当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。
2. 監査証明について  
当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。
3. 四半期連結財務諸表について  
四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（平成19年内閣府令第64号）第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金及びキャッシュ・フローその他の項目から見て、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。  
なお、資産基準、売上高基準、利益基準及び利益剰余金基準による割合は次の通りであります。

資産基準	0.9%
売上高基準	1.7%
利益基準	0.8%
利益剰余金基準	0.6%

1【四半期財務諸表】  
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,539,145	2,085,321
受取手形及び売掛金	3,515,270	3,041,344
有価証券	100,100	15,085
製品	89,183	100,001
仕掛品	353,145	323,814
原材料及び貯蔵品	76,065	87,191
繰延税金資産	129,000	142,000
その他	59,040	57,881
貸倒引当金	8,182	9,128
流動資産合計	5,852,767	5,843,512
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,986,951	1,979,908
機械及び装置(純額)	1,897,563	2,109,293
土地	3,816,757	3,816,757
その他(純額)	478,837	242,830
有形固定資産合計	8,180,109	8,148,789
無形固定資産	134,960	123,910
投資その他の資産		
投資有価証券	2,693,389	2,758,223
繰延税金資産	435,000	385,000
その他	228,803	243,829
貸倒引当金	29,274	30,861
投資その他の資産合計	3,327,918	3,356,191
固定資産合計	11,642,988	11,628,891
資産合計	17,495,756	17,472,404

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,650,071	1,599,650
短期借入金	1,860,000	1,860,000
1年内返済予定の長期借入金	99,992	74,988
未払法人税等	64,000	47,000
賞与引当金	246,000	267,000
その他	966,343	918,677
流動負債合計	4,886,407	4,767,315
固定負債		
長期借入金	85,025	128,784
退職給付引当金	1,838,676	1,893,233
役員退職慰労引当金	316,890	321,217
その他	106,361	80,901
固定負債合計	2,346,952	2,424,135
負債合計	7,233,360	7,191,451
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,236,114	1,236,114
資本剰余金	1,049,534	1,049,534
利益剰余金	7,812,447	7,743,653
自己株式	405,249	405,271
株主資本合計	9,692,847	9,624,031
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	569,548	656,921
評価・換算差額等合計	569,548	656,921
純資産合計	10,262,396	10,280,953
負債純資産合計	17,495,756	17,472,404

(2)【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,895,072	6,992,683
売上原価	5,676,264	5,684,363
売上総利益	1,218,808	1,308,319
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	218,334	225,889
貸倒引当金繰入額	179	945
給料及び手当	547,749	529,015
賞与引当金繰入額	100,921	97,659
退職給付引当金繰入額	22,346	28,861
役員退職慰労引当金繰入額	8,252	8,327
その他	469,719	474,163
販売費及び一般管理費合計	1,367,142	1,364,862
営業損失( )	148,334	56,542
営業外収益		
受取利息	2,189	1,847
受取配当金	21,288	24,269
不動産賃貸料	30,925	31,830
その他	27,691	27,766
営業外収益合計	82,094	85,713
営業外費用		
支払利息	12,282	11,485
不動産賃貸費用	12,420	12,068
その他	5,441	4,104
営業外費用合計	30,143	27,659
経常利益又は経常損失( )	96,383	1,511
特別利益		
固定資産売却益	1,855	209
投資有価証券売却益	3,400	3,478
特別利益合計	5,255	3,688
特別損失		
固定資産売却損	268	68
固定資産廃棄損	2,058	2,923
投資有価証券評価損	38,168	10,616
その他	1,186	964
特別損失合計	41,681	14,571
税引前四半期純損失( )	132,809	9,372
法人税、住民税及び事業税	5,000	38,977
法人税等調整額	51,450	31,163
法人税等合計	46,450	7,814
四半期純損失( )	86,358	17,186

## (3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
営業収入	7,761,079	7,776,414
原材料の仕入・外注費の支出	3,811,762	3,563,168
人件費の支出	2,442,568	2,425,199
その他の営業支出	912,133	899,816
小計	594,615	888,229
不動産賃貸料等の受取額	61,308	61,701
不動産賃貸支出の支払額	4,975	4,962
立替金等の支出	613,475	571,962
立替金等の回収による収入	638,720	579,185
消費税等の支払額	140,507	116,912
法人税等の支払額	80,995	53,573
営業活動によるキャッシュ・フロー	454,690	781,705
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	427,834	348,680
有形固定資産の売却による収入	4,817	538
無形固定資産の取得による支出	32,708	7,683
投資有価証券の取得による支出	107,521	52,870
投資有価証券の売却及び償還による収入	6,670	222,011
利息及び配当金の受取額	19,171	23,654
その他の支出	1,147	864
その他の収入	2,648	1,014
投資活動によるキャッシュ・フロー	535,904	162,879
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	300,000	700,000
短期借入金の返済による支出	430,000	700,000
長期借入れによる収入	-	50,000
長期借入金の返済による支出	24,996	31,245
リース債務の返済による支出	25,910	26,286
自己株式の取得による支出	12	22
配当金の支払額	51,768	51,587
利息の支払額	14,948	13,508
財務活動によるキャッシュ・フロー	247,635	72,649
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	328,849	546,176
現金及び現金同等物の期首残高	1,398,681	1,439,145
現金及び現金同等物の四半期末残高	<sup>1</sup> 1,069,831	<sup>1</sup> 1,985,321

【注記事項】  
(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	1,159,831千円	2,085,321千円
預入期間が3か月を超える定期預金	90,000千円	100,000千円
現金及び現金同等物	1,069,831千円	1,985,321千円

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月18日 取締役会	普通株式	51,607	3.0	平成24年3月31日	平成24年6月12日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月5日 取締役会	普通株式	51,607	3.0	平成24年9月30日	平成24年12月4日	利益剰余金

当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月17日 取締役会	普通株式	51,607	3.0	平成25年3月31日	平成25年6月11日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月5日 取締役会	普通株式	51,607	3.0	平成25年9月30日	平成25年12月3日	利益剰余金

(セグメント情報等)  
 【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)及び当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

当社は、印刷事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額( )(円)	5.02	1.00
(算定上の基礎)		
四半期純損失( )(千円)	86,358	17,186
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失( )(千円)	86,358	17,186
普通株式の期中平均株式数(株)	17,202,471	17,202,438

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

平成25年11月5日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次の通り決議いたしました。

中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・51,607千円

1株当たりの金額・・・・・・・・・・3円

支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・平成25年12月3日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月11日

サンメッセ株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 水野 裕之

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 浅井 孝孔

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサンメッセ株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第69期事業年度の第2四半期会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、サンメッセ株式会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. 四半期財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。